

令和6年度特定健診・特定保健指導の実施状況（速報値）

保険者が厚生労働省に毎年度報告することとされている特定健康診査等の実施状況に関する結果報告業務（令和6年度実施分・令和7年度報告分）が終了し、その速報値を取りまとめたので概要をお知らせする。

本県における令和6年度実施分の特定健診実施率は前年度比0.6ポイント増の38.4%と、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度実施分38.0%を上回った。

また、特定保健指導実施率は前年度比0.5ポイント増の42.4%と2年連続で上昇したが、令和元年度と比較すると5.1ポイントの差があり、未だコロナ前より低い状況が続いていることから、生活習慣病の発症予防等のためにも実施率向上の取組が必要である。（表1参照）

表1 特定健診・特定保健指導実施率の推移

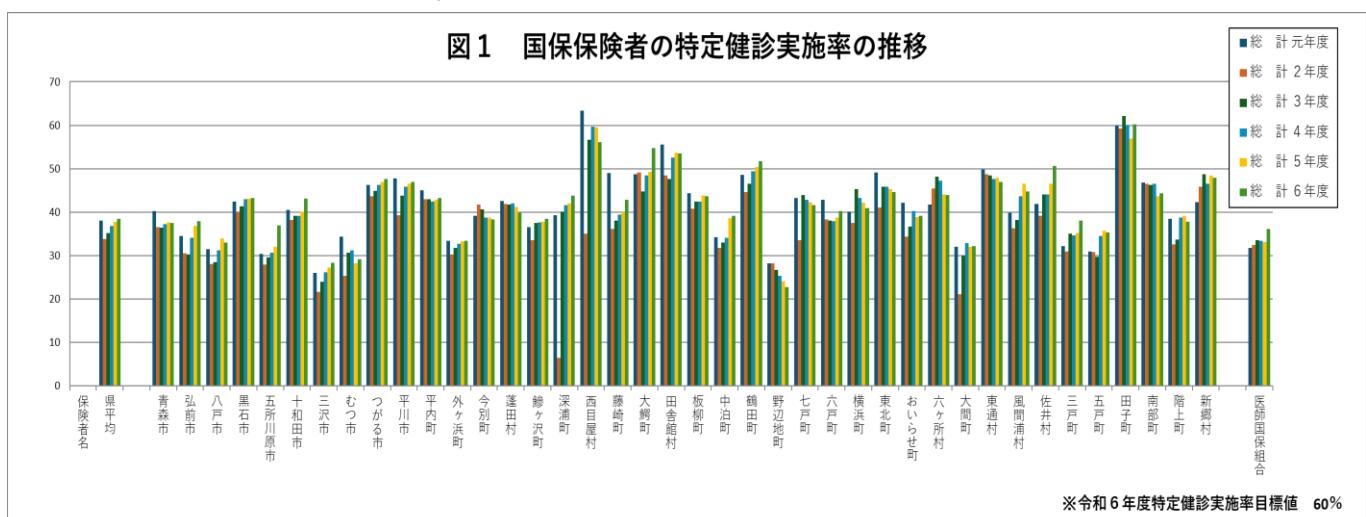
市町村国保	特定健診実施率						特定保健指導実施率					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
青森県平均	38.0%	33.8%	35.2%	36.8%	37.8%	38.4%	47.5%	45.6%	40.8%	41.5%	41.9%	42.4%
					(速報値)							(速報値)
全国平均	38.0%	33.7%	36.4%	37.5%	38.2%	-	29.3%	27.9%	27.9%	28.8%	29.1%	-
全国との差	0.0%	0.1%	△1.2%	△0.7%	△0.4%	-	18.2%	17.7%	12.9%	12.7%	12.8%	-

※1 令和元年度～5年度 厚生労働省まとめ

※2 令和6年度は特定健診等データ管理システムによる。

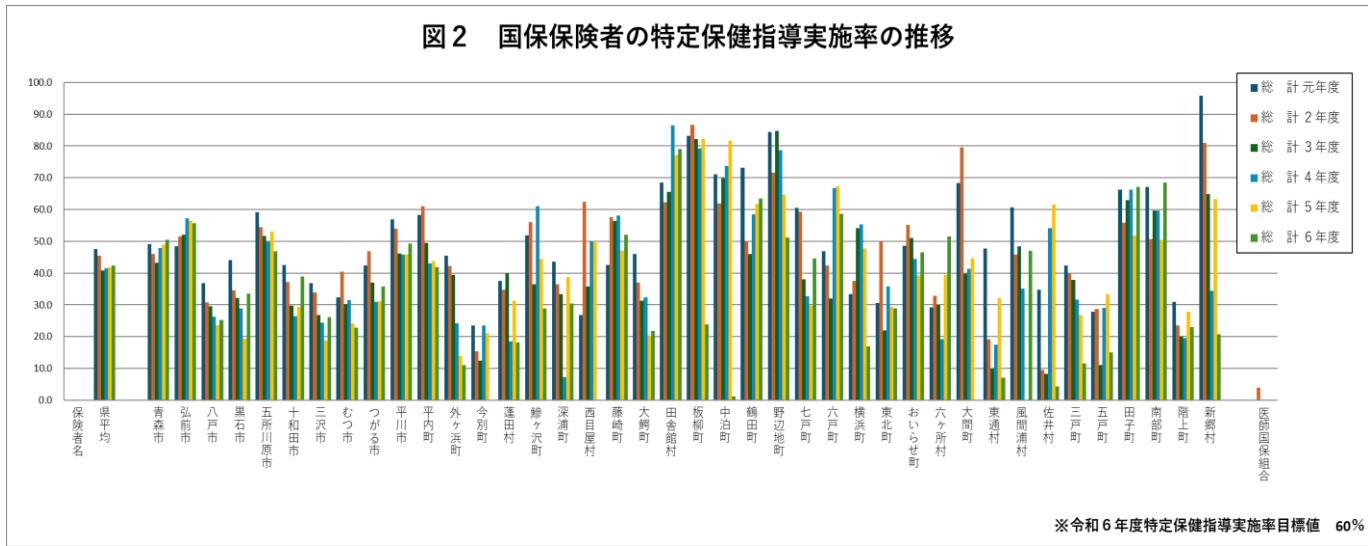
※3 青森県平均、全国平均の数値は国保組合を除く。

市町村別の特定健診実施率を見ると23市町村で前年度より上昇するとともに、令和元年度実施率を上回ったのは21市町村にのぼった。（図1参照）



※各年度の実施率は、それぞれ翌年度の9月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。

市町村別の特定保健指導実施率を見ると 17 市町村で前年度より上昇するとともに、令和元年度実施率を上回ったのは 8 市町村にのぼった。(図 2 参照)



※各年度の実施率は、それぞれ翌年度の 9 月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。

年代別の特定健診実施率は、全国的に見ても 40~50 歳代の働き盛り世代が低い傾向にあるが、本県においても 40 歳代が 24.6%、50 歳代が 28.5% (図 3 参照) と他世代に比べ特に低い状況にある。

保険者においては受診環境の整備を行うなど、本県の課題である早世の減少への重要な取組として、働き盛り世代の未受診者対策の強化をお願いします。

